

ガイド&マップ

凡例

バス路線 バス停 案内所 駐車場 郵便局
トイレ ビュースポット 箱根ジオパーク ジオサイト

ウォーキング
モデルコース

●●●●● A 真鶴周遊ウォーキングコース
●●●●● B 魚つき保安林満喫コース
●●●●● C 港・お林コース
●●●●● D 歴史・ロマンコース
●●●●● E 道祖神コース
●●●●● F 背戸道・美の町コース

本小松石

真鶴町は奈良時代末期から続く路石「小松石」の産地で、石材業は漁業と並ぶ産業です。高級な墓石用、記念碑などでも町内で採掘や加工が行われています。「小松石」の名は真鶴の小松山の地名に由来しています。



詩歌の舞台、真鶴

温暖な自然にめぐまれた真鶴には、昔から様々な文学者が訪れ、遊び、滞在したときの印象をもとに、多くの作品を残しています。

1 片山 哲 [MAP 4-D]

我年来好鶴清浄 黄鶴迎我登雲峰
真鶴飛舞景勝 清静守道愛鶴岬

2 与謝野 晶子 [MAP 5-E]

わが立てる 真鶴崎が二つにす
相模の海と伊豆の白波

3 佐佐木 信綱 [MAP 5-D]

真鶴の林しづかに
海の色のさやけき見つつ
わが心清し

1 黒田長政供養の碑

黒田長政より江戸城の用石発掘の命を受けた小河織部正良は岩小松山に良質の石材を発見し石丁場を開きました。黒田長政13回忌にあたり小河織部正良は供養の石塔を建てたといわれ、礎石部分は当時のものと伝えられています。[MAP 3-A]



2 石工先祖の碑

平安時代末期に石材業を始めた土屋裕衛や江戸城を築くための採石に当たった黒田長政支配下の業績をたたえ、平安時代末期に建てられ、江戸時代末期に再建されたものです。[MAP 4-B]



後三年の役(1083年)に源義家に従って活躍した荒井実経の居城といわれ、竹林に囲まれる閑静な園内は憩いの場になっています。春にはしだれ桜が咲き「しだれ桜の宴」が開催され、期間中ライトアップされるしだれ桜が幻想的です。[MAP 3-B]



源頼朝が治承4年8月(1180年)石橋山の戦に敗れた時、この岩屋に隠れ難を逃れました。かつては高さ2m、奥行10m以上の大きさがあり、波が打ち寄せる岩窟でした。

5 貴船神社と貴船まつり [MAP 4-D]

貴船神社の歴史は古く、寛平元年(889年)の創建と言われ、大國主神 事代主神、少産名神がまつられています。江戸時代には貴宮大明神と呼ばれていましたが、明治元年、現在の名称となりました。7月最終土曜日とその前日に行われる祭礼は勇壮華麗な船祭りとして有名で、同時に奉納される鹿島踊りとともに、国の重要無形民俗文化財に指定されています。[MAP 4-D]

6 品川台礎石の碑

江戸時代末期に築かれた品川台(砲台)にも真鶴産の石が使われました。後に埋め立てにより姿を消すことになり、砲臺横に礎石だけが移されました。[MAP 4-C]



7 お林と魚つき保安林

徳川時代、小田原藩に割り当てられた15万本の松苗を、豊原だった真鶴岬にも植林しました。明治維新後、皇室御料林となり、戦後になってから真鶴町に払い下げられました。また、魚つき林として真鶴の産業を支える役割も果たしています。真鶴町の人々は親しみをもって「お林」と呼んで大切にしています。[MAP 5-E]



8 岩海水浴場

半島唯一の砂浜の海岸で、波が静かなので小さいお子様も安心して水遊びができ、夏は親子づれで賑わいます。[MAP 5-B]



9 五層塔と頌徳碑

瀧門寺の山門に向かって右手にある五層塔は、廃寺となった岩松山光西寺の遺物で塔身は一つの石で作られ、江戸時代初期(1654年造立)の彫刻技術水準の高さを示しています。山門に向かって左手にある頌徳碑は宮石の三津木徳兵衛の功績をたたえたもので、当時の石材業や石材技術を示す貴重な資料です。[MAP 4-A]



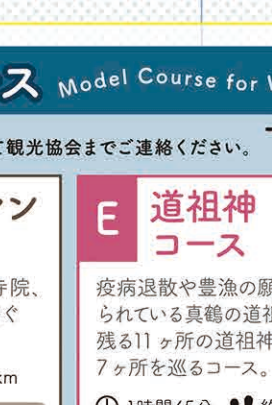
10 瀧門寺の宝篋印塔

明和4年(1767年)瀧門寺の13世鳳州了悟和尚が人々の幸せな生活を願い、多くの人々の寄付や労力の提供を受けて建てたものです。[MAP 4-A]



11 如来寺跡

帰命山如来寺は1620年に建てられ、本尊は石仏の阿弥陀如来であったと言われています。古い境内には石庭があり、中に石造りの十王像や菩薩形座像(聖観音像)、地藏菩薩像などが安置されています。[MAP 4-B] ※立入不可

A 真鶴周遊
ウォーキングコース

真鶴の代表的な見どころを凝縮したオアシスコースです。※ガイド要相談
◎3時間 ！！約10km

JR真鶴駅	5分(270m)
荒井城址公園	40分(2.2km)
お林展望公園	60分(3.2km)
中川一政美術館	
御林遊歩道(い)	
森林浴遊歩道(は)	
番場浦遊歩道	
潮騒遊歩道	
真鶴岬 ミツ石海岸	2分(110m)
ケーブル真鶴	30分(1.6km)
御林遊歩道(小島の池)(ろ)	
森林浴遊歩道(灯明山)(に)	
琴ヶ浜	10分(540m)
貴船神社	3分(160m)
魚市場・真鶴魚座	30分(1.6km)
真鶴半島遊覧船	
鳴屋	
JR真鶴駅	

※各コースの所要時間・歩行距離は、おおよその目安です。

真鶴半島をガイド付きで散策！

ウォーキングモデルコース Model Course for Walking

ガイド1名につき¥1,000+参加者1名につき¥200。ご希望される方は一週間以上の余裕をみて観光協会までご連絡ください。 TEL 0465-68-2543

B 魚つき保安林・保健保安林満喫コース

「魚つき保安林」「保健保安林」として手厚く保護されている深い森を巡る自然満喫の森林浴コース。

◎1時間10分 ！！約33km	お林展望公園	4分(200m)
	御林遊歩道(い)	3分(130m)
	森林浴遊歩道(灯明山)(に)	23分(1.1km)
	御林遊歩道(小島の池)(ろ)	3分(200m)
	森林浴遊歩道(は)	6分(350m)
	番場浦遊歩道	8分(400m)
	潮騒遊歩道	15分(500m)
	ミツ石海岸	7分(200m)
	ケーブル真鶴	

C 港・お林コース

「魚つき保安林」とさわやかな海風(潮風)を満喫するコース。

◎1時間25分 ！！約3.4km	JR真鶴駅	5分(270m)
	荒井城址公園	15分(720m)
	真鶴港	10分(500m)
	貴船神社	10分(540m)
	琴ヶ浜	20分(600m)
	森林浴遊歩道(灯明山)(に)	15分(300m)
	御林遊歩道(小島の池)(ろ)	10分(450m)
	ケーブル真鶴	

D 歴史・ロマンコース

歴史をひも解く石碑や寺院、史跡を巡る。今と昔を繋ぐロマンチックなコース。

◎1時間50分 ！！約6.2km	JR真鶴駅	10分(700m)
	西念寺(黒田長政供養の碑)	45分(2.5km)
	兒子神社	10分(520m)
	瀧門寺(宝篋印塔、五層塔と頌徳碑)	7分(360m)
	お天さん	2分(140m)
	如来寺跡	3分(180m)
	源頼朝船出の浜(岩海岸)	20分(1.1km)
	石工先祖の碑	10分(700m)
	JR真鶴駅	

E 道祖神コース

疫病退散や豊漁の願いが込められている真鶴の道祖神。今も残る11ヶ所の道祖神のうち、7ヶ所を巡るコース。

◎1時間45分 ！！約5.8km	JR真鶴駅	35分(1.8km)
	上の道祖神(e)	15分(800m)
	下の道祖神(f)	10分(640m)
	大下の道祖神(g)	5分(320m)
	丸山の道祖神(h)	9分(500m)
	東の道祖神(i)	12分(660m)
	西の道祖神(j)	13分(740m)
	児童館前道祖神(k)	5分(300m)
	JR真鶴駅	

F 背戸道・美の町コース

「背戸道」と呼ばれる路地を歩く「美の町 真鶴」を実感できるコース。真鶴町まちづくり条例「美の基準」に基づいた「真鶴らしい美」を堪能してください。

◎1時間35分 ！！約5.2km	JR真鶴駅	10分(540m)
	「美の基準」モデルハウスコミュニティ真鶴	15分(810m)
	懐かしいまち並み西仲商店街	5分(270m)
	「海の仕事」の風景真鶴港	10分(540m)
	さば大師	10分(540m)
	東の道祖神	15分(810m)
	謡坂	10分(540m)
	石工先祖の碑	20分(1.1km)
	JR真鶴駅	

日本でも珍しいトンボロ現象が見られるミツ石の磯場は、足元が悪く潮が満ちてくると戻れなくなるので、遊らないうにしてください。

真鶴半島の花図鑑

ツツブキ (キク科ツツブキ)	ツルシバ (タデ科イヌタデ属)	イソギク (キク科キク属)
花期:10~12月 分布:潮騒遊歩道周辺	花期:10~12月 分布:潮騒遊歩道周辺	花期:10~11月 分布:潮騒遊歩道周辺
ガクアジサイ (ユキノシタ科アジサイ属)	ハマエンドウ (マメ科レンリソウ属)	ハマユウ (ヒガンバナ科ハマユウ属)
花期:6~7月 分布:中川一政美術館周辺	花期:4~7月 分布:潮騒遊歩道周辺	花期:7~9月 分布:ケーブル真鶴周辺
ハマカンゾウ (ユリ科アスレグ属)	しだれ桜	ソメイヨシノ
花期:7~10月 分布:潮騒遊歩道周辺	花期:3月下旬~4月上旬 分布:荒井城址公園	花期:4月 分布:ケーブル真鶴、お林展望公園

県指定の天然記念物

サンゴイソギンチャク(昭和54年に県の天然記念物に指定)

真鶴半島の南側は暖かく、サンゴイソギンチャクの生息する北限となっています。夏にはクマノミなども見ることができ、生息地一帯はダイビングスポットとなっています。



ウメボシイソギンチャク(昭和54年に県の天然記念物に指定)

満潮線と干潮線の間に生息する空気を好むイソギンチャクの仲間です。相模湾では、関東大震災の時に海面隆起でほとんど死滅してしまいましたが、ここミツ石の東側を中心にした半島付け根の岩礁には多く群生しています。満潮になると、濃紅色の花を咲かせるように素晴らしい景観を見せます。

真鶴半島の照葉樹林

真鶴半島の魚つき保安林は、クスノキやスダジイなどの照葉樹林とクロマツとアカマツのマツ林で構成されており、林床部には、ユリ科植物や様々な種類のシダ植物などが生育しています。神奈川県海岸部を代表する照葉樹林であり、半島としてまとった面積で残されていることが貴重であるとして、平成21年2月に神奈川県天然記念物に指定されました。